

市の魅力創出と共生社会 実現のビジョンは

鈴木成夫(市議会民主党)

①市の魅力創出と発信を推進しないか。
市長 小金井の坂や様々な歴史的的魅力等、小金井のあるもの探しに全力を挙げ、それを市民と行政で共有し、発信していきたい。

②「地域がいのちを守るまち小金井」構築に向け、消防団員確保の課題は何か。
市長 災害や事故発生時、市職員の団員が経験をかかして人命救助に当たった例もある。是非積極的に入団していただきたい。

総務部長 団員確保に向けた取組では、多くの市民が集まる機会を捉え、団員募集や活動のアピールをし、市内事業所や大学への働きかけも必要と考えている。

③共生社会実現に向けた市のビジョンは。
市長 障がいのある方もない方もともに暮らせるまちを目指していくべきと考えている。大規模災害時に支援や配慮が必要な市民の見守りでは、地域がいのちを守る近助と共助の領域を大切にしていきたい。

市内中小事業者の 支援策拡充を

板倉真也(日本共産党)

①市長が都議会議員時代に決意されていた公契約条例の確立に向けて、リーダーシップを発揮していただけると期待していいか。
市長 都議会議員時代の私の主張、自分の考えは決して消えたわけではない。板倉議員と近い思いを共有している部分が多々ある。しかし、小金井市というこの市政の中にどう位置付けていくかについては、検討が必要だと思っている。

②住宅リフォーム助成制度を前倒しで実施するか、少なくとも平成29年度の当初からスタートさせるべきか。
市長 住宅政策の現在の喫緊の課題は、特定緊急輸送道路の耐震化、木造住宅の耐震化によって、災害時の市民の身体・生命・財産を守ること。住宅リフォーム制度については、引き続き検討していきたいと考えている。

妊娠期から子育てに わたる切れ目のない支援

紀 由紀子(公明党)

①(ア)東京都の出産子育て応援事業を活用し、妊娠期から出産、子育てにわたる切れ目のない支援を提供するため、育児パッケージの配布を行わないか。(イ)妊娠や子育て中の保護者が、安心して出産や子育てができるように、タイムリーな情報をメールで届ける子育て応援メールを実施しないか。(ウ)ネウボラの一環として、訪問型の支援(ホームスタート等)を行わないか。
福祉保健部長 (ア)慎重に検討する。

市長 (イ)前向きに検討する。(ウ)地域で支え合う子育てに取り組んでまいりたい。

②地域防災拡充のために消防団活動の更なる推進を。(ア)消防団員へのより安全な防火衣の支給を急がないか。(イ)綾部市の女性消防団は、火災予防の広報活動を中心に活動していた。女性消防団員を登用しないか。
総務部長 (ア)支給を加速していきたい。(イ)検討してまいりたい。

庁舎建設予定地の 蛇の目跡地の土壌調査を

遠藤百合子(自民党小金井)

①新庁舎建設の際、各種法令に照らし、予定地である蛇の目ミシン工場跡地の土壌調査が必須だと考える。(ア)土壌汚染対策法に照らした市の考え方は。(イ)土壌調査の実施予定等は。
環境部長 (ア)東京都の指導により、状況調査を行う段取りになると考えている。

庁舎建設等担当部長 (イ)法的なそこがないよう、整理していく。

②女性消防団の創設と、本団付けで広報部門を担当させていく考えはないか。
総務部長 各種のご意見を伺いながら、女性消防団が活躍できるように検討したい。

③女性の働き続ける社会を後押しするテレワーク(在宅勤務)の推進を。
市民部長 新しい取組のため、商工会と相談し、関係機関とも協力して研究したい。

■その他、児童生徒の心身充実を図るための教育長の臨む姿勢について質問しました。

投票率の向上とシチズン シップ教育の充実を

林 倫子(生活者ネット)

女性が参政権を獲得して以来71年ぶりに公職選挙法が改正され、投票権が18歳にまで拡大された。これを契機に、投票率向上のための方策が検討され、高校で主権者教育を行うための副教材が作成・配布されている。本市での取組について伺う。(ア)投票率向上のために行ってきた施策について。(イ)大学構内での期日前投票所の増設について。(ウ)小中学校でシチズンシップ教育の取組を行わないか。
選挙管理委員会事務局長 (ア)選挙公報の音声版発行について、市議選までの実現に向けて努力したい。(イ)市内大学と連携して学生が関心を持つのは有意義と捉えているが、選択肢の一つとして研究したい。

学校教育部長 (ウ)小中学校では、基礎基本を身に付けさせることが肝要と考える。

■その他、自殺対策強化のための計画づくりを求めました。

はけを壊す都市計画道路 について見解を問う

百瀬和浩(リベラル保守)

都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線について市民とどう向き合い、都に対して自治体の長としてどういう意見を出していくのか。都市計画マスタープランの目指すべき将来像の実現に向け、都に対して市の立場を明確にする必要がある。
都市整備部長 2つの路線は都が決定したもので、市は判断する立場にはないが、各方面から寄せられた意見は都に伝えていく。都においては、今後適切な対応が図られるものと認識している。

市長 この2路線はいずれも国分寺崖線を通る路線であり、市の大切な財産であるはけの環境や景観等への影響に配慮が必要になるものだと思う。都に対してはこうした状況も踏まえ、市民、市議会等の意見、要望を的確に伝えていく。

■その他、新庁舎建設と公共施設の再配置計画について質問と提案をしました。

民生委員・児童委員、 欠員地区の解消を

中根三枝(自民党小金井)

先日、市内で事故に遭った一人暮らし高齢者から、民生委員に相談したいとの連絡を受けたが、欠員地区であった。全国的に欠員地区が増加している。平成10年度は千898人、平成15年度は2千145人、平成20年度は3千677人、平成25年度が6千783人と欠員が増えており、なり手不足が大きな課題となっている。本市でも平成26年3月発行のわたしの便利帳に17人の欠員が掲載されている。民生委員に光を当て、社会全体が委員の方を向くことにより欠員解消につながるべきかと考える。(ア)現在の欠員数は。(イ)欠員をどう認識しているか。(ウ)人材育成は。
福祉保健部長 (ア)民生委員法に基づく84人が定数で、今年度は9人委嘱するも、まだ12人欠員の状況である。(イ)相談者の増加や問題の複雑化・多様化等に伴って委員の負担が増している。(ウ)委嘱時に職務説明をし、都主催の新任研修や現任研修を行う。

美しいまちを ついでに

湯沢綾子(自民党小金井)

まちの顔である駅前で派手な原色の看板等が使用されると、水と緑という本市のイメージに影響があるので、色彩の規制がでないかという提案を以前からしてきた。多くの人に住みたいと思ってもらえるまちにするためには、自然の豊かな名所をピンポイントで考えるだけでなく、駅前を始め市内全体を調和のとれた美しい景観に誘導していく必要がある。例えば、近隣のある市では、ごみ置き場は位置やデザインを配慮する、駐輪場や駐車場は植栽をして目隠しするなど、目指す景観をイラスト入りで詳細に具体化し、協力を呼びかけている。本市は制度の面でもイメージの共有という面でも、一歩遅れているのではないかと。
市長 その地域の特性にあった景観づくりに取り組んでいるまちは多くあり、大切な視点だと思う。本市の景観行政について、ブランドデザインの中で議論したい。

分け隔てない、共生社会 の実現を目指そう

田頭祐子(生活者ネット)

①岡山県総社市では、市長が障がい者千人雇用を掲げ、3年間で720人の就労につながった。(ア)市内の障がい者の福祉就労は42人就労していない方の実態は。(イ)農業との連携や、コンビニ、駅構内などの地域連携は。
福祉保健部長 (ア)障害者就労支援センターで就労準備支援や施設連絡会を行い、状況把握に努めている。(イ)農福連携は、就労へのステップアップとして検討したい。

②(ア)特別支援が必要な子どもでも、希望すれば通常学級で学べるか。(イ)子どもが安心して相談に飛び込めるよう、教室や職員室の窓ガラスは透明にしないか。
指導室長補佐 (ア)保護者、学校、教育委員会との共通理解のもと、保護者や介助員等が付き添うなどケースごとに対応している。

学校教育部長 (イ)困ったときには一番相談しやすい大人に相談するよう指導している。透明な窓ガラスの導入は検討したい。

野川とはけを壊す道路 計画、市の意志を問う

坂井えつ子(緑・市民自治)

1962年に計画決定された道路計画が、54年を経た今、10年以内に着手する優先整備路線に選定された計画案が昨年末に公表された。(ア)方針が決定すれば、直接影響を受ける市民への説明が必要ではないか。(イ)10年後、20年後の野川やはけのあるべき姿は。(ウ)国分寺市や世田谷区では、まちづくりの姿勢を示したことで、道路計画の見直しが行われている。市長の意志を問う。
市長 (ア)都の事業なので、説明会も都が行うべきもの。市としての説明は困難。(イ)市民に親しまれる大切な小金井の憩いの場であるべき。(ウ)はけや野川は、小金井市の特徴であり、文学的にも意味深い場所であることは知っているが、都施行路線なので、市は判断する立場にない。市民や議会の意見は都に伝えていく。

■その他、投票率アップ、音声の選挙公報、市ホームページ改善について質問しました。